

学術国際交流協定大学等への短期留学レポート

学 年 6 学年次

氏 名 阪上あすか

1. 留学先 (☑を入れる)

- ☐ 南イリノイ大学医学部・PBL コース
- ☐ 南イリノイ大学医学部・Elective コース
- ☐ コンケン大学医学部 ☐ ルール大学医学部
- ☐ ウッチ医科大学 ☐ バーモント大学医学部
- ☐ ポズナン医科大学 ☐ タマサート大学チュラポーン国際医学部
- ☐ HMEP プログラム・HCCPP コース
- ☐ HMEP プログラム・HMEPCC コース ☒ 英国大学(グラスゴー大学)

2. 研修先 (複数の科などで行った場合は、全て記入すること)

集中治療

科/講座

3. 留学期間 (出発・帰国日も含めた期間を記入すること)

2025 年 2 月 28 日 ～ 2025 年 3 月 30 日

4. 留学費用 (概算でもよいので項目別に記入すること)

・航空券代	310,740 円
・宿泊費	232,800 円
・光熱水費	0 円
・予防接種代	50,000 円
・海外旅行保険代	21,590 円
・生活費(食事代, 交通費等)	60,000 円

5-1. レポート内容【勉学面】

今回の留学に関し、勉学面について記入欄に自由に記述すること。

注意 1 : 必ず留学して良かった点・改善点、留学への心構え・必要な英語力についての記述を含む内容とすること。

注意 2 : 文字の大きさ・文字数については、目安として、10.5又は11ポイントにより、500字以上とすること。なお、用紙が不足する場合は複写して使用すること。

記入欄

この度、医学教育振興財団（JMEF）の英国短期留学プログラムを通じてグラスゴー大学付属の病院に4週間の実習をさせていただきました。

私は高校生の頃に、英国で働く医師と出会った際に「社会的処方 Social Prescribing」について知り、そこから英国の医療について興味を持ち始め、自ら現場に行きその実情を見てみたいと思っていました。

本留学では、IELTS Academic Module の受験が必要で、大学にはよりますが Overall Band Score 6.5 または 7.0 が必要とされました。グラスゴーでは、地元の方は皆グラスウィージャン・アクセントで話され、かつ早口の方もいらっしゃるの、会話する際はスピーキング力よりも相手を聞き取るリスニング力が必要かなと感じました。

今回、グラスゴーで医学実習をしたことで、一部ではありますが英国の医療を自分の目で見ることができました。自分は幸いにも2つの病院のICU病棟（麻酔科が主科）で実習をする機会がありました。ICU病棟であること、そして病院が3次医療圏であることから、一般開業医（General Practitioner）と関わる機会は少なく、当初目的としていた社会的処方と触れる機会はありませんでした。しかし、ICU病棟だからこそ見ることができるグラスゴーの全体を少しでも垣間見ることができました。

自分と似たような立場の学生がいらない中で実習することの難しさを実感する中で、それを乗り越えるため主体的に動くという選択、そしてその結果少しでもチームの一員となった時の達成感は、このような機会なしでは経験できませんでした。日本と英国の医療制度の比較だけでなく、医療従事者としての働き方や生き方について考えさせられ、「自分は〇〇の道に進むべき」という考え方から、「自分はこんな道やあんな道にも進めるかもしれない」、という可能性を広げて考えられるようになりました。

5-2. レポート内容【生活面】

今回の留学に関し、生活面について記入欄に自由に記述すること。

注意 1 : 必ず **現地での生活環境（住居、気候、通学手段など）**における準備した物、

役立つ情報についての記述を含む内容とすること。

注意 2 : 文字の大きさ・文字数については、目安として、10.5又は11ポイントにより、

500字以上とすること。なお、用紙が不足する場合は複写して使用すること。

記入欄

宿泊場所は、自分たちで寮や Airbnb や寮を探しました。大学から頂いた宿泊リストの大学の提携先や私営の寮に連絡したところ、4週間という短期間で貸し出しているところが見つからなかったため、Airbnb を借りることにしました。最初は病院の近くに滞在しようとしていたのですが、グラスゴーに滞在している知人からグラスゴーで治安が良いのは West End という場所であると教えてもらったので、経済的には少し嵩みましたが West End というエリアで場所を探しました。実際にグラスゴーについてからは、周りの方からそのエリアは良い住宅街であり、病院周りは治安が悪いと聞いたので、事前に現地の情報を得られて幸運でした。

Glasgow Royal Infirmary までは電車 (Scot Rail)・徒歩で計 30 分、The Institute まではバス (First Bus)・徒歩で計 40 分ほどかけて行きました。バスは時刻表通りにきますが、たまに定時を待たずに発車するため少し早めにバス停に着くようにしていました。電車もバスも定期を購入することで病院以外に行く際にも使用できました。

グラスゴーの物価ですが、イギリス圏内では安い方だと思いますが、現在の円安などを考えた上では生活費（食費）などは決して安いとは言えませんでした。ですので、外食は最低限に控え、朝昼晩はスーパーで購入したものを調理していました。ここで、寮や Airbnb の条件によってはキッチンの使用が限られている場所もあると思うので、その点では宿泊場所としてアパートを借りられたのはよかったと思います。3月のグラスゴーは9℃と気温上は少し寒いですが、今年は雨もあまり降らず晴れの日が多かったため、比較的暖かく感じる日が続きました。暖かい日用の薄着から、ダウンジャケットなど様々な気候に対応できる服装を持つていくことをお勧めします。